

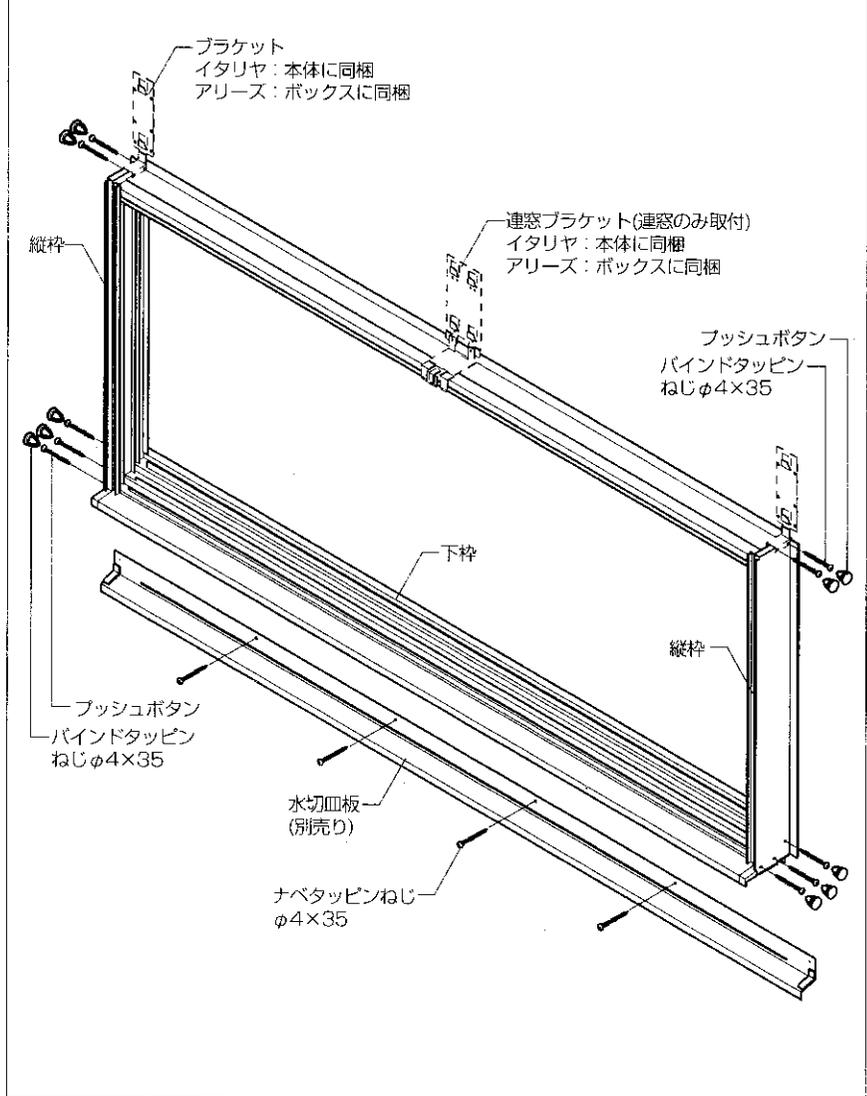
■施工される方へ

- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。
- ⚠️**注意**…取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。
- 本製品は木造用です。ALC鉄骨造・RC造などに取付けると、シャッター本体が脱落したり、変形による作動不良や雨漏りの原因になります。
- 本製品のうち、サッシ枠の組立て及び取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシ枠の組立て・取付けはシャッター(電動)の施工範囲には含まれません。

⚠️注意

- 下記の項目を守らないと、本体の脱落や変形による作動不良・雨漏りの原因になります。
- 外壁仕上げ後にシャッターを取り付けないでください。必ず構造体に直接取り付けてください。
- シャッターを連窓(サッシW2871以上)にする場合、つり束を取り付けてください。つり束は最大60kgの荷重がかかりますので、□90mm以上の木材を使用してください。
- サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上反りがないようにしてください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。

■構成図



■施工上のお願

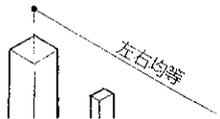
- ねじは必ず指定のものを使用してください。
- シャッター取付け部に背板(合板・板金など)を取り付けてください。
- 水切り皿板は別途手配してください。(別売り)
- 本製品を取り付けた後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
- 上枠に張ってある「上限 下限」のラベルはアリーズのリミット調整用です。イタリアには使用しません。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないように指導してください。
- モルタル剥離剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
- シャッター部分の組立て・取付けについては「イタリア」取付け説明書をご覧ください。

■使用部品・ねじ一覧表

取付け用		組立て用	
ナベタッピンねじ	皿木ねじ	バインドタッピンねじ	プッシュボタン

■取付け順序

1 サッシ枠と水切り皿板の取付け



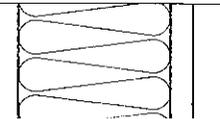
■取付け詳細

1 サッシ枠と水切り皿板の取付け

- ①サッシ枠の上下・左右の取付け位置を決めます。
- ②上枠を仮止めし、水平・垂直を出す。その後、上枠にねじを打つ。

■上枠部

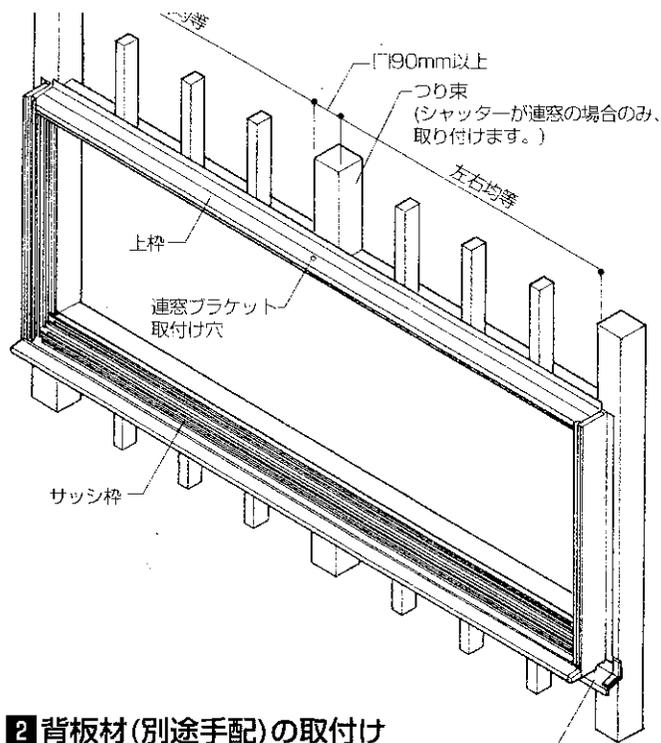
ナベタッピン



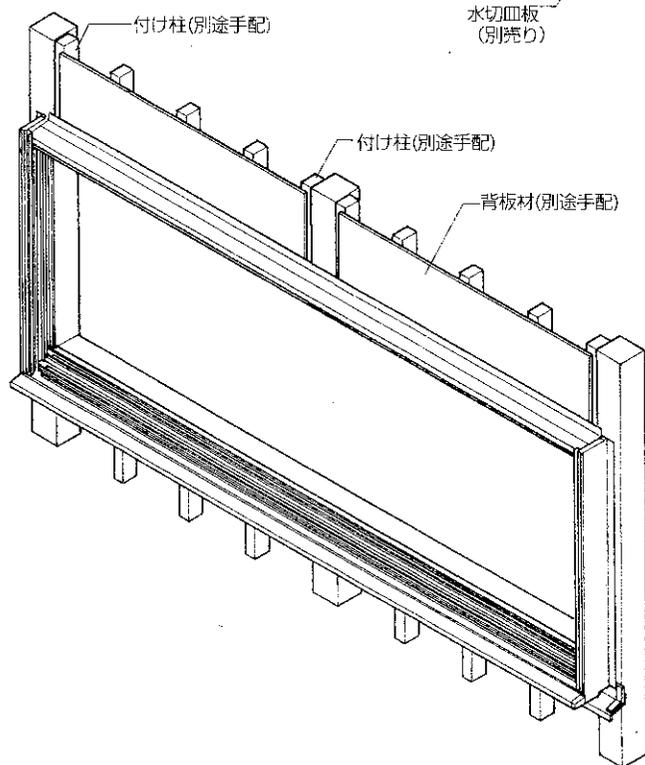
■縦枠部

ナベタッピン



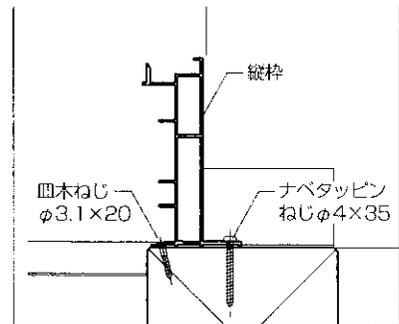
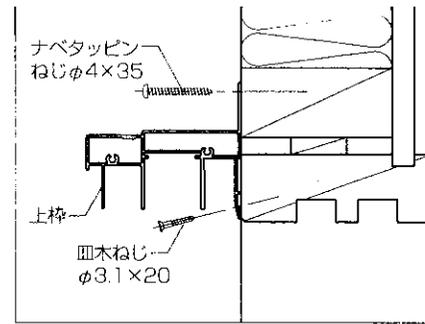


2 背板材(別途手配)の取付け



②上枠を仮止めし、水平・垂直を出した後、上枠と縦枠を本止めます。

※上枠・縦枠の固定は、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認し、縦枠にたおれのある場合は、カイモノ等で調整してください。

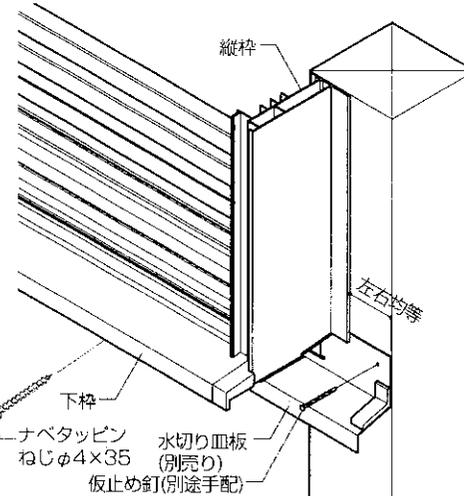


③水切り皿板を下枠のフィンの下に差し込み、両端を左右均等にし、両端の加工穴で仮止めます。

④水切り皿板を下枠の穴に合わせ、φ4.5のうっし穴をあけます。下枠の水平を出した後、下枠と一緒に本止めます。

注意

下枠の固定は水準器等で水平を確認し、上反りのある場合は、カイモノ等で調整してください。



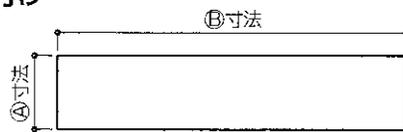
注意

シャッター連窓の場合、つり束を取り付けてください。つり束には最大約60kgの重量がかかりますので、□90mm以上の木を使用してください。

※つり束は左右均等の位置に取り付けてください。連窓するシャッターが左右均等でない場合、上枠の連窓ブラケット取り付け穴につり束の中心がくるように取り付けてください。

2 背板材(別途手配)の取付け

①背板(耐水合板厚さ3mm以下又は板金)を用意し、下記の寸法でカットしてください。



	④寸法	⑤寸法							⑥寸法公式	
		W60	W90	W120	W63	W95	W59	W91	単窓	連窓
アリーズ	240	1660	2570	1660	1850	2810	1750	2700	W-65	W/2-1135
イタリア	200									

②まぐさ上部に付け柱を取り付けます。
※付け柱の寸法は45mm以上にしてください。
③背板材を上枠のフィンの上にのせ、上枠のフィンから約45mmの位置で取り付けます。

